

ダブルピペットホルダーとは

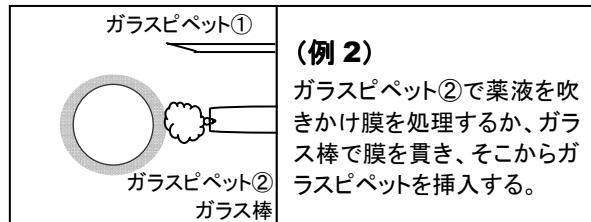
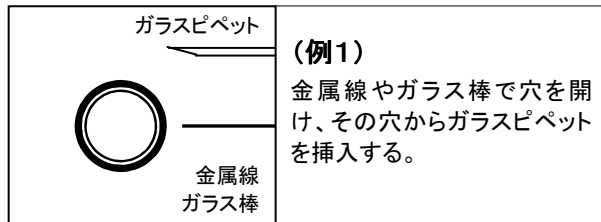
ピペットは1台のマニピュレーターにつき1本を保持するのが一般的ですが、ピペットを2本保持できる製品もあります。今回はHD-21を例に挙げてダブルピペットホルダーの使用例と使用方法をご紹介します。

◆◆ 代表的な使用例 ◆◆

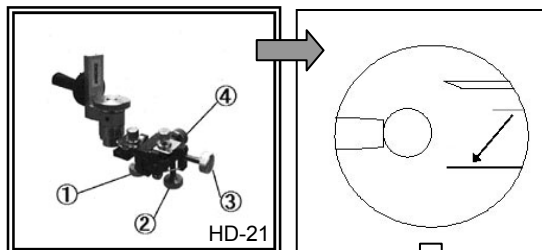
- 昆虫の卵へのマイクロインジェクション(蚕の卵など)
- 2種類の異なった薬液を用いて実験したい場合
- アシステッドハッチング
- エンブリオパイオプシー、等

ここでポイント!

固い外殻や厚い膜によってインジェクションピペットが刺さらない場合、その障害を処理するために2本目のピペットを用います。処理の方法としては、金属線やガラス棒で物理的に処理する場合と、何らかの薬液を用いる場合が考えられます。ダブルピペットホルダーを用いる事によって、1台のマニピュレーター上でガラス管を付け替えるよりも作業が断然早くなります。2台のマニピュレーターを用いるよりも設置スペースが少なく済み、また、最初の位置決めを行った後にはマニピュレーター1台で作業を続ける事ができることから、作業性も良くなります。



◆◆ 操作方法 ◆◆

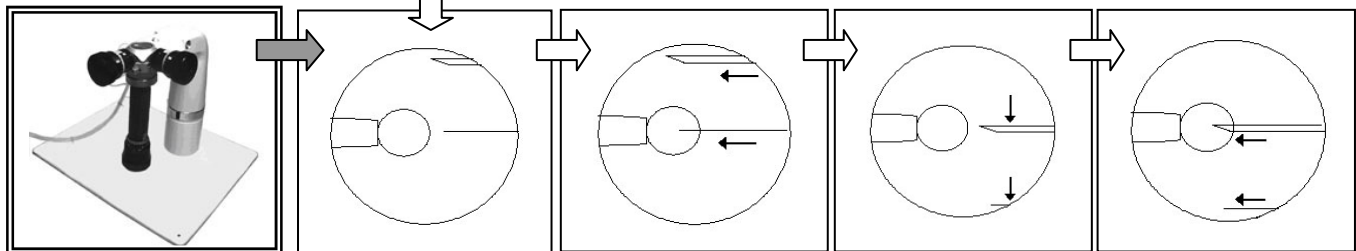


①HD-21の4つのつまみで2本のピペットの位置調整をします。1本目のピペットとの距離が対象物の半径以上になるように位置を調整して下さい。

*HD-21では最大20mm程度まで上げられます。

②マニピュレーターの操作ノブでピペットを挿入します。

*HD-21のノブは位置調整のために使います。挿入作業には使いません。



※M-152などの手動マニピュレーターにHD-21を連結することもできます。HD-21の取り付けバーはφ8mmです。

ここで豆知識

油圧タイプのダブルピペットホルダーなども特注にて承ります。お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

ナリシゲカスタマーサポートセンター

TEL: (+81) 03-3308-8232

E-MAIL: sales@narishige.co.jp